様式1-1

# 平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

| 事務事業名 | No. 550603 | 老人憩いの家運営管理事業 | 主管課名 | 高齢福祉課 |
|---|---|---|---|---|
| この事務事業の位置 | 政策 | 誰もが健康で生きがいのある暮らし | | |
| | 施策 | みんなで助け合える福祉のまち | 課長名 | 深谷　真由美 |
| | 基本事業 | 福祉施設整備の推進 | | |

## (1)事業の概要

地区老人憩いの家の運営管理を指定管理者である各地区老人クラブが実施。
指定管理期間　平成26年4月1日から平成31年3月31日　5年間

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)

市内１２館の老人憩いの家の運営管理を、指定管理者の各地区の老人クラブが行った。また、莇生・打越老人憩いの家の耐震診断を実施した。

26年度計画　■前年と同様　□変更あり　変更内容

## (5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 老人憩いの家利用者 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

老人憩いの家

## (6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 老人憩いの家設置数 | か所 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

老人憩いの家の運営管理が円滑になされる

## (7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 老人憩いの家に対する苦情数 | 件 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (4)結果(上位基本事業の意図)

住み慣れた地域で安心して生活してもらう

## (8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

| | 名　称 | 単位 |
|---|---|---|
| ① | 市内の高齢者施設を利用している市民の数 | 人 |
| ② | | |
| ③ | | |

## (9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

| 指標 ＼ 年度 | | 単位 | 24年度実績値 | 25年度実績値 | 26年度計画値 | 27年度目標値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (5)の活動指標 | ① | 人 | 51,571 | 51,837 | 52,000 | 52,200 | 52,400 | 52,600 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (6)の対象指標 | ① | か所 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (7)の成果指標 | ① | 件 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |
| (8)の結果の成果指標 | ① | 人 | 74,366 | 75,991 | 77,500 | 79,000 | 80,500 | 82,000 |
| | ② | | | | | | | |
| | ③ | | | | | | | |

## (10)予算費目

| 会計 | 01 一般会計 | 款 | 03 | 項 | 01 | 目 | 07 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (11)コスト

| (11)コスト | | 年度 | 24年度実績値 | 25年度実績値 | 26年度計画値 | 27年度目標値 | 28年度目標値 | 29年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 (決算又は予算額) | | 単位 | 35,732 | 82,749 | 70,253 | 43,862 | 47,385 | 57,085 |
| A 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | 0 | 40,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 千円 | 7,354 | 19,000 | 20,001 | 12,001 | 15,701 | 25,401 |
| | 一般財源 | 千円 | 28,378 | 23,749 | 50,252 | 31,861 | 31,684 | 31,684 |
| 人件費B | | 千円 | 1,583 | 2,245 | 2,245 | 2,245 | 2,245 | 2,245 |
| | 正職員従事時間×人数 | 時間×人 | 105 × 4 | 150 × 4 | 150 × 4 | 150 × 4 | 150 × 4 | 150 × 4 |
| | 正職員以外の人件費 | 千円 | | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| その他費用C | | 千円 | 47 | 369 | 369 | 369 | 369 | 369 |
| トータルコストA+B+C | | 千円 | 37,362 | 85,363 | 72,867 | 46,476 | 49,999 | 59,699 |
| 単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標) | ① | 千円/ か所 | 3,114 | 7,114 | 6,072 | 3,873 | 4,167 | 4,975 |
| | ② | 千円/ | | | | | | |
| | ③ | 千円/ | | | | | | |

様式1-2

| 2 環境変化と住民意見等 | 事務事業名 | No. | 550603 | 老人憩いの家運営管理事業 |
|---|---|---|---|---|

**(1)この事務事業はいつから開始したのか？**

昭和４６年　　から

**(2)この事務事業を開始したきっかけは？**

市内在住の高齢者に対して、教養の向上、レクリエーション及び趣味活動等のための施設を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図るため

**(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？**

□変化していない
■変化している → 変化した内容：高齢者人口の増加

**(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？**

施設の老朽化に伴い、修繕、建替え等の要望がある。また緊急的な修繕の要望も年々多く寄せられる。
施設管理を老人クラブが実施していることから、施設の利用がその地域の老人クラブ会員に偏る傾向が見受けられる。今後は高齢者全てが利用しやすい施設としていくことが課題。公共施設のあり方についても、払下げなど今後検討が必要となってくる。

## 3 評価（SEE）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目的妥当性 | (1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？<br>また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？ | □法定受託事務<br>■自治事務 | 根拠法令 | 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する |
| | | | 根拠法令 | みよし市立老人憩いの家設置条例 |
| | | | この事務を行う根拠又は理由 | 市内在住の高齢者に対して、教養の故意場、レクリエーション及び趣味活動等のための施設を提供し心身の健康増進を図るため。 |
| | (2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？ | ■結びつく<br>□結びつかない | 理由 | |
| | (3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？ | □できる → □拡大 / □縮小<br>■できない | 内容 | |
| | (4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？ | □できる → □追加 / □拡充 / □絞込み<br>■できない | 内容 | |
| 有効性 | (5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？ | ■影響が大きい<br>□多少影響がある<br>□影響はない | 理由又は内容 | |
| | (6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？<br>※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？ | □できる<br>■できない | 理由又は内容 | 指定管理施設として適正に管理されている。 |
| | (7)類似又は関連する事業はありませんか？<br>また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？ | □ある → □庁内事業 / □庁外事業<br>■ない | 類似事業名 | |
| | | | 類似事業との再編の可能性 | □ある → 内容<br>□ない |
| 効率性 | (8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| | (9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？) | □ある<br>■ない | 内容 | |
| 公平性 | (10)受益者負担はありますか？<br>また、受益者負担割合は適正ですか？ | ■ある → ■現状で適正<br>□ない → □検討が必要<br>□受益者がいない | 内容 | |

## 4 改革改善案（PLAN）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)今後の事業の方向性 | □拡大 | □改善 | ■現状維持 | □縮小 | □統合 | □廃止・休止 |
| | コストの方向性 | ↓　削減 | 事業費の方向性 | ↓　減額 | 成果の方向性 | →　維持 |
| (2)改革・改善案<br>※対象、意図、手段等の見直しなど | | | | | | |